

第2回「山の日」記念全国大会開催記念 「山の日」写真コンテスト受賞作一覧

最優秀賞：「イワカガミ咲く」／阿部 茂（栃木県）



(講評) 初夏を代表するイワカガミを大きく取り込み、背後の那須の山を
ぼかすことでイワカガミが際立っています。イワカガミを斜めに配置し
たことで写真に動きと季節感が盛り込まれた力作です。イワカガミの面
積を少し大きくするとさらに良い写真になります。

優秀賞：「那須連山には、残雪と桜がよく合う」／柴田 敏文（茨城県）



(講評) 桜と残雪の那須連山と雲を組合せた春爛漫の美しい写真です。青空の比率をもう少し削り、桜の面積を多くするとより良い写真になつたでしょう。

優秀賞：「噴煙凍る」／大杉 光司（栃木県）



(講評) 厳しい冬の茶臼岳で撮影した写真です。噴煙で山の躍動感と厳しさが表現された力強い写真です。空の部分をもう少し切り取ると、山が大きく表現されさらによい写真になります。

入賞：「那須岳からの贈り物」／茂木 貞夫（栃木県）



入賞：「雄姿現る」／高柳 一徳（栃木県）



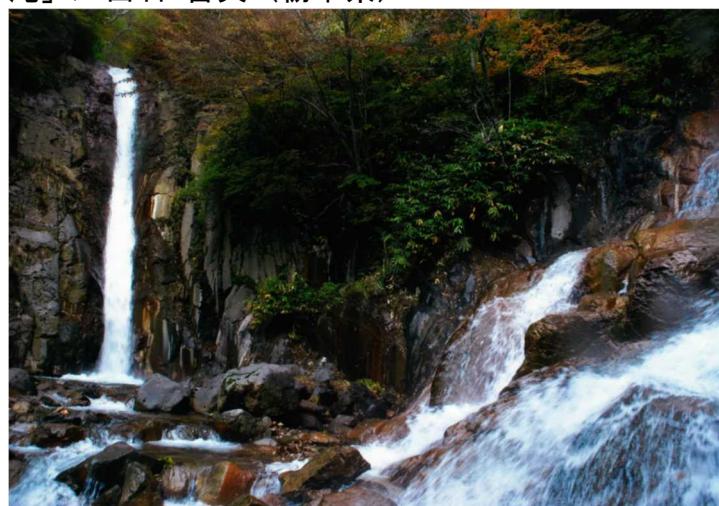
入賞：「娘と主人」／柳田 陽香（神奈川県）



入賞：「荒野をわたる風」／関谷 賢治（栃木県）



入賞：「両部の滝」／白石 哲夫（栃木県）



入賞：「日、射す」／伊藤 辰明（栃木県）



【コンテスト全体を通しての講評】

全体を通して、A3大、ワイド四つ切という難易度が高い条件の中、完成度の高い作品が多くありました。山の花々や紅葉、雪に覆われた山の姿のほか、登山を楽しむ人々や温泉に入って寛ぐ姿など、「那須」らしさが表現された写真が多かったのも特徴的でした。

最後に1つアドバイス。自分が素晴らしい光景に出会った時、はじめに撮りたい主役を決めましょう。次に、主役が際立つように画面全体を有効に使い構図を決めます。この時、奥行きや動き、季節感や臨場感を盛り込み、写真の完成度を高めることが大切です。写真の完成度が高まれば写真に感動が盛り込まれます。